

第57回全国入浴福祉研修会 ～開催報告～

デベロ老人福祉研究所が主催する第57回全国入浴福祉研修会を3月19日(金)にオンラインにて開催しました。オンラインでの研修は、これまでの移動にかかる費用や時間の負担がなくなりますので、全国各地からたくさんのご受講をいただきました。初めてオンライン研修を受講された方からも、「想像より簡単にできた」と聞いております。デベロ老人福祉研究所では今後もオンラインを活用した研修等を企画いたしますので、是非ご検討ください。

基調講演 「人と関わるということ」 ～ものがたりの視点から～

医療法人社団ナラティブホーム
ものがたり診療所 所長 佐藤 伸彦 氏

基調講演では、佐藤伸彦先生が富山県砺波市の「ものがたり診療所」リライブにて配信。診療所の他に高齢者への看護や介護、そして「住まい」までを考え、ひとりひとりの「ものがたり」を大切に「ものがたりの街」の取組をレジュメのほか、動画等で説明いただくなど、画面越しでもわかりやすく、また、先生の熱意や思いが伝わるご講演でした。



佐藤伸彦先生による基調講演と紹介された動画

受講者された方からは、『ひとりで聴いているのがもったいないくらいの内容で、訪問入浴の素晴らしさを再確認しました。感動的なエピソードに涙腺が緩んでも、オンラインなので気兼ねなかったです。』『人生の最後を前に、遺影撮影をする姿が生き生きとして素晴らしかった。』等のたくさんのご感想をいただきました。

行政説明 「令和3年度の介護報酬改定について」

～ 訪問入浴介護 ～

厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課

課長補佐 平井 智章 氏

報酬改定を直前に控え、新たな報酬体系に関して、訪問入浴介護を中心に説明いただきました。制度設計をベースに、事業者として準備をすべきことや、介護人材の問題、少子・高齢化といった地域の課題に向けて、改めて考えることのできる機会となりました。

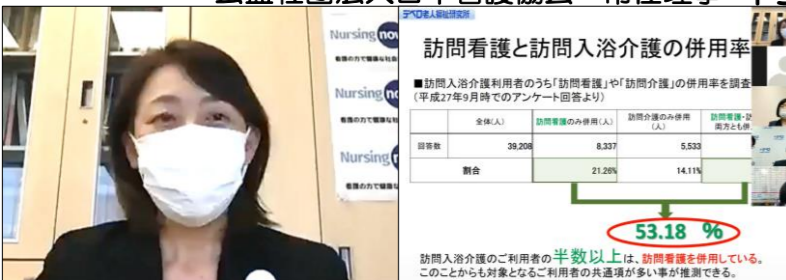


平井 智章 氏

全体講演 「地域包括ケアに求められる多職種連携について」

～ 最期まで地域で支えるために ～

公益社団法人日本看護協会 常任理事 岡島 さおり 氏



岡島 さおり 氏

受講者の方の声では、『事例を踏まえて、わかりやすく講義頂き、訪問入浴における看護師の重要性を再認識できました。』『訪問看護との連携の必要性や訪問入浴の重要さが伝わってきました。』等の感想を寄せていただきました。

感染対策の再確認!! ～安心して介護を受けていただくために～

新型コロナウイルスの感染拡大によって、人々の生活が一変し、早いもので一年以上経過しました。「ウイズコロナ」という考え方が前提となった現在においても、医療・介護に従事される方々が依然として緊張状態を保ったまま、日夜従事されておられる事と想います。感染拡大の影響が長期化する中で、一瞬の気の緩みや、わずかな油断が大きなトラブルにつながることも想定されます。このような状況にあるからこそ、あらためて自分たちの感染対策や予防について見直す必要があるかと思えます。そこで、感染症学、公衆衛生学が専門である小池和子先生にご指導をいただきました。

～安心して介護を受けていただくために～

感染症を予防する対策として、スタンダードプリコーション(標準予防策)が介護の現場でもかなり浸透してきたと思えます。訪問入浴介護においては、サービスの提供ごとに機材の「洗浄・消毒」の実施が決められていることから、コロナ禍における感染症対策にも早期から対応ができていたとお話も聞きます。それでも介護現場では、どうしてもご利用者様と介助者側が接触を避けてはならない場面が多くありますので、感染経路別の対策のポイントをご説明します。

飛沫を浴びない・浴びせない

まず考えたいことは飛沫(つば、くしゃみ、咳)を顔に浴びない・浴びせないことです。感染者の飛沫と一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込むことで感染するのが飛沫感染です。マスクを装着していたとしても、対面での会話や、顔を近づける際にも、できるだけ相手の正面にならない様にするなど心掛けましょう。

接触感染は、経路の洗浄や消毒

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後などに、周囲の物に触れるとウイルスが付着します。他の人がそれを触ることでウイルスが手に付着し、その手で口や目・鼻を触ることで粘膜から感染します。接触感染対策として、手洗いや手指消毒の習慣を徹底しましょう。食事前の手洗いは必ず行っていただきたいことですが、食時の時以外でも、つい顔に触れてしまう時があります。顔に触れる際には、必ず手洗いか消毒をしてから触るように心がけましょう。

使用後の手袋やエプロン

手袋やエプロンを外すときは、汚れた面(外側の面)を内側にしながら、汚れた面を触れない様に脱ぎましょう。ごみ袋に廃棄する場合は、袋の中身を押し込まない様にしながら密閉しましょう。封を閉じたごみ袋は、第三者が誤って開けない様にするなど周知も必要です。

次のサービスのために

サービス提供後の機材の洗浄・消毒は丁寧に行いましょう。洗浄は、洗い残し箇所のないようにしっかりと洗い、できる限りたくさんの流水で流してください。新型コロナウイルスの消毒については、現在の所、アルコール(濃度70%以上95%以下のエタノール)や次亜塩素酸ナトリウム(濃度0.05%)などが有効とされています。※この情報は、全ての菌やウイルスに効果があるわけではなく、新型コロナウイルスに有効であるということに注意してください。

新型コロナウイルスについては、基礎疾患などをもっておられる高齢者の方が重症化しやすいことが分っています。そうした方が、外部との接触を抑えることで、感染を防ぐことはもっともなことであります。一方で、本来受けなければならない医療や介護を我慢した結果、慢性疾患などの悪化により健康を害してしまう可能性もあります。安心して医療や介護サービスを受けていただくためにも、感染防止対策の再確認を行いましょう。

小池 和子 先生

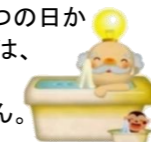
医学博士、ICD(感染制御博士)。
茨城県立医療大学教授・保健医療学部
医科学センター長、植草学園大学
保健医療学部教授・学部長などを歴任。

古今東西その8 宇宙での入浴

宇宙旅行が現実になる日が近そうですが、疑問に思うのが「宇宙での入浴」。結論から言うと、現在、宇宙船、宇宙ステーションには入浴設備はありません。無重力ではお湯を貯めることができないため、洗身はドライシャンプーなどを使用しているとのこと。

1974年アメリカの「スカイラブ計画」では、船内にシャワー設備を搭載しましたが、水によるトラブルを防ぐため、シャワーを浴びた後は、約1時間かけて水滴を拭き取っていたとのこと、宇宙での入浴は断念されてしまいました。

現在は、宇宙空間での入浴は夢のような話ですが、いつの日か地球を眺めながらお風呂に浸かれる日がやってくるのでは、と想像してしまいます。そしてそれを可能にするのは風呂好きの日本人ならではの期待せざるにはられません。



訪問入浴介護のお申込み・お問い合わせは